

[様式 1-1]

江東区 橋梁長寿命化修繕計画

令和4年11月



江東区 土木部

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

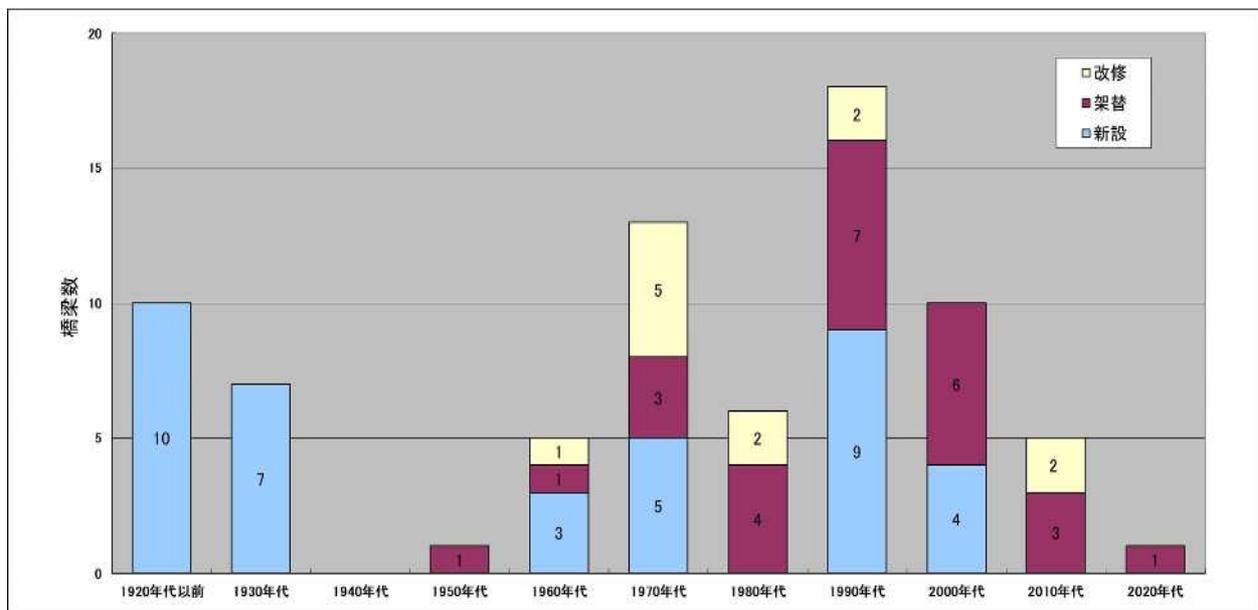
江東区が管理する道路橋および人道橋は、現在 85 橋である。このうち撤去予定のない橋梁は 76 橋であり、このなかで建設後又は架替え後 50 年以上を経過する高齢化橋梁は 23 橋、全体の 30%を占めている。老朽化が加速する中での橋梁の長寿命化は、重要な課題であり、適切で合理的な維持管理及び予算管理による江東区の道路ネットワークの安全性と信頼性を確保するために、長寿命化修繕計画の策定は不可欠である。

2) 目的

以下の目的のために、長寿命化修繕計画を改定する。

- ①安全で信頼できる橋梁の適切かつ合理的な維持管理
- ②限られた予算内での橋梁の延命化のための予防的対策を主体とする修繕計画
- ③橋梁の維持管理が適切に実施されていることの区民への周知

建設・架替え年別の橋梁数分布



建設・架替え後 50 年以上の橋梁数の増加



2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

		道路橋	人道橋 横断歩道橋		合計
全管理橋梁数		70	15		85
内	計画の対象橋梁数	61	15		76
	内 これまでの計画策定橋梁数	61	11		72
	内 R1年度計画策定橋梁数	0	4		4
○長寿命化修繕計画の対象： 江東区が管理する橋梁のうち撤去予定の9橋を除いた道路橋、人道橋・横断歩道橋					

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

- ①橋梁利用者の事故・被害を未然に防止するため、架設年度や架橋条件等を考慮するとともに、損傷劣化の状況を調査して、橋梁の健全度を的確に把握する。
- ②点検方法及び損傷度判定は、「江東区橋梁点検要領」に基づき行う。
- ③健全度は、損傷度判定に橋梁の重要度、耐久性及び安全性を加味して評価する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

- ①健全度の早期把握のため、パトロール・清掃等の日常的維持管理に加え、定期的な点検を実施する。点検は「江東区橋梁点検要領」に基づき実施する。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 老朽化対策における基本方針

- ①従来に対症療法型の橋梁管理から、劣化の進行を予測した上で、損傷が深刻化する前に修繕を行う予防保全型の橋梁管理へ転換し、橋梁の長寿命化を図るとともに、修繕・架替えに係る費用の縮減を図る。
- ②健全度評価に加えて、交差条件、路線重要度、交通量や供用年数を考慮した上で、修繕計画の優先順位付けを行う。
- ③ライフサイクルコスト（LCC）を適切に考慮して、修繕費用のシミュレーションを実施し、最適な修繕・架替え計画を策定し、橋梁管理コストの平準化を図る。

2) 新技術等の活用

- ①次回定期点検（令和8年度まで）では、前回定期点検時に橋梁点検車などを使用した橋梁に対し、点検支援技術性能カタログ（案）等に基づいた新技術の活用を図る。
- ②令和11年度までに、架替又は大規模修繕を予定している橋梁のうち3橋で、費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術の活用を図る。

3) 費用の縮減に関する具体的な方針

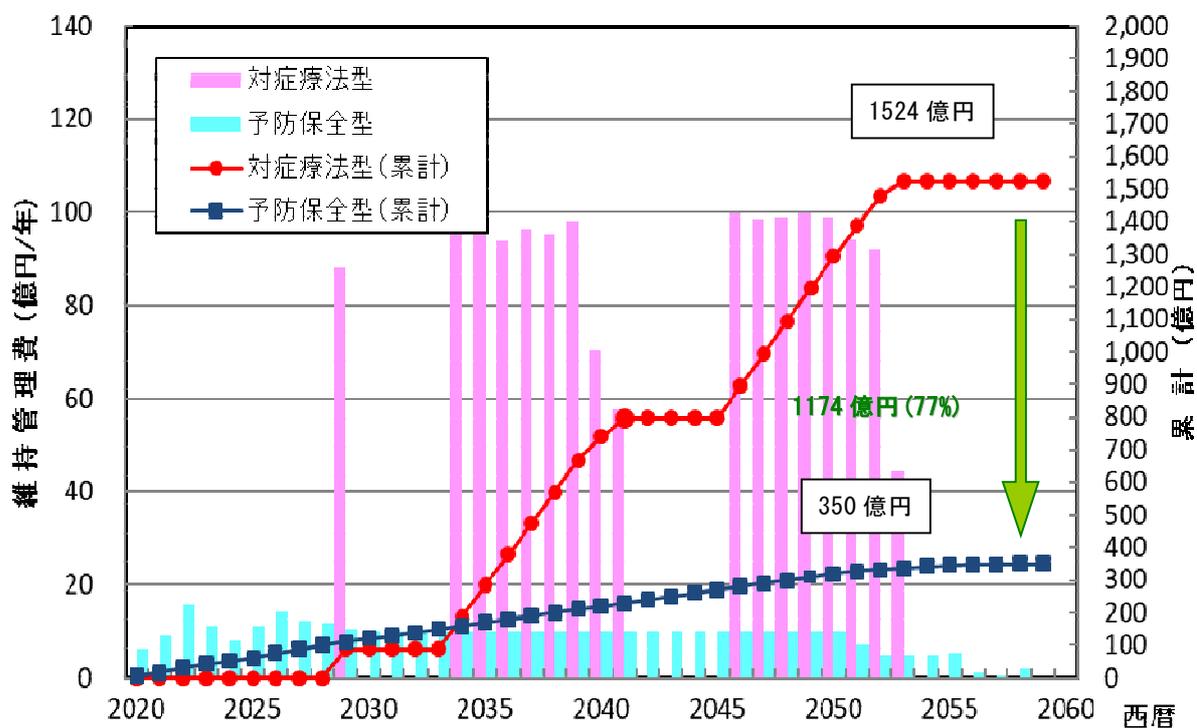
- ①前述の予防保全型橋梁管理や新技術の活用などにより、修繕・架替えに係る費用の縮減を図るとともに、施設の利用状況や周辺道路の整備状況に応じた集約化・撤去についても検討し、計画全体費用の縮減を図る。

5. 対象橋梁ごとの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式 1-2 参照

6. 長寿命化修繕計画による効果

●修繕・架替えに要する経費については、今後 40 年間で 1524 億円→350 億円となり、約 77% の縮減が見込まれる。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

江東区 土木部 道路課 TEL 03-3647-9684

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

芝浦工業大学 工学部 土木工学科 勝木 太 教授